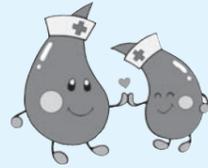


12/13日 いわき献血冬の陣を開催

保健所総務課医事薬事係 ☎27-8590
12月13日(日)の「いわき市民献血の日」に合わせて、街頭献血キャンペーン「いわき献血冬の陣」を開催します。
冬期は、年末年始の長期休暇、風邪等による体調不良などで、献血量が減少する時期となりますので、献血の協力をお願いします。

所①イオンいわき店=9時30分~16時30分 ②鹿島ショッピングセンターエブリア=10時~11時30分、13時~16時30分

※夏の陣・冬の陣両方で献血に協力いただいた方には、粗品をプレゼントしますので、夏の陣で配付したフラおじさんカードをお持ちください。



特定医療費受給者証の更新手続きを
保健所地域保健課健康増進係 ☎27-8594
現在交付されている受給者証の有効期限は、12月31日(木)までです。引き続き要件に該当する方は、更新手続きが必要となりますので、12月28日(月)までに同課窓口で申請してください。



保健

ウイルス感染に注意を
保健所地域保健課感染症対策係 ☎27-8595
○ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意を
幼児や高齢者など抵抗力が弱い人が感染すると、重症化することがありますので、十分注意しましょう。
嘔吐や下痢などのほか、頭痛や発熱
予①貝類はなるべく生食を避け、十分に加熱する ②トイレの後や調理前には入念に手を洗う

住まいの復興給付金申請相談会
住まいの復興給付金事務局コールセンター ☎120-250-4600
日①市役所本庁舎1階12月18日(金) ②市文化センター11月19日(土)
時①8時30分~17時15分 ②10時~16時30分
※事前の申し込みは不要。

心の健康相談

保健所地域保健課精神保健係 ☎27-8557
精神科医師や心理士が相談をお受けします。
日12月15日(火)、来年1月5日(火)
時13時15分~16時30分
所総合保健福祉センター
申事前に☎か窓口で



休日納税相談
税務課徴収企画係 ☎22-7424
平日に時間的余裕のない方の利便を図るため、休日納税相談窓口を開設します。
日12月27日(日) 9時~16時
所同課、小名浜・勿来・常磐・内郷・四倉の各税務事務所
内税の納付や納付方法の相談、納付書の再発行など



相談



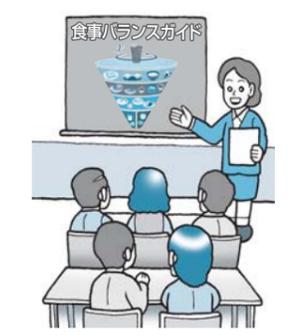
住まいの復興給付金申請相談会
住まいの復興給付金事務局コールセンター ☎120-250-4600
日①市役所本庁舎1階12月18日(金) ②市文化センター11月19日(土)
時①8時30分~17時15分 ②10時~16時30分
※事前の申し込みは不要。

住まいと暮らしの再建相談会
ふるさと再生課被災者支援グループ ☎22-7437
日12月19日(土) 10時~16時30分
所市文化センター
対震災により家屋被害などを受けた市民の方
申事前に同課へ☎で

がん予防講演会を開催
保健所地域保健課成人保健係 ☎27-8559
日来年1月11日(月) 13時15分
所総合保健福祉センター
演科学的根拠にもとづく最新がん予防法
講津金昌一郎(国立研究開発法人国立がん研究センターがん予防・検診研究センター)



○インフルエンザの予防を
予①手洗い・うがいをこまめに行い、部屋を定期的に換気する ②バランスの取れた食事と十分な睡眠を取り、適度な運動をする ③人混みを避け、マスクを着用する ④予防接種を受ける



健康づくりサポーター養成講座の受講者を募集
保健所地域保健課健康増進係 ☎27-8594
日来年2月2日(火)・9日(火)・16日(火)・23日(火)、3月1日(火)・10日(木)(全6回) 10時~正午(3月1日は13時まで)
所総合保健福祉センター
内健康づくりに関する講話や運動、調理実習
定20人(応募多数の場合は抽選)
申☎☎で同課へ
期来年1月26日(火)

市有地を一般競争入札で売却
管財課財産係 ☎22-7421
内物件所在地/地積/参考価格
①江名字荻ノ作107番3/1,079.95㎡/600万円
②植田町中央二丁目8番8/102.35㎡/380万円
③植田町中央三丁目15番1/126.33㎡/460万円
④四倉町玉山字炭釜61番1、61番7/2,942.91㎡/590万円
対いわき市民の方(1世帯1物件)。④のみ市内事業者の申し込み可。
日来年2月16日(火) 14時~
申/期同課窓口へ/12月2日(水)~24日(木)
※参考価格は、価格の目安として定めた金額であり、入札最低価格とは異なります。
※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



募集 市潮学生寮の入寮生

教育政策課総務係 ☎22-7540
所神奈川県川崎市多摩区三田二丁目1-19(小田急線生田駅下車徒歩5分)
対①大学・短大・専修学校(修業年限2年以上の専門課程に限る)に在学中か入学見込みの男子(通信教育を除く) ②いわき市出身者で、保護者が現在市内に居住
定/料27人程度/①入寮金=30,900円 ②寮費(月額)=2人部屋21,200円 ③食費(月額)=16,500円(朝夕の2食)
申同課、各支所・高校などに備え付けの入寮願書に必要書類を添付して、同課へ持参提出
※入寮願書は、市ホームページからも入手できます。
期来年1月4日(月)~29日(金)

アリオス主催 公演チケット発売開始のお知らせ

アリオスチケットセンター ☎22-5800

公演名	とき	料金	予約開始
第11回いわきアリオス落語会 出演：柳家三三ほか	来年3/23(水) 19時~	3,000円 ※未就学児入場不可。	来年1/9(土) 10時~

▶購入方法 ①電話予約 ②インターネット予約 ③窓口販売(発売2日目より取り扱い)

市民のひろば ~明るく元気な いわき市を目指して~

レポート②②②

今月号は、助産師として妊産婦や子育てに関する支援活動を行う「NPO法人Commune with 助産師」理事長の草野祐香利さんに、活動を始めた経緯や今後の目標などについて、インタビューした内容をお伝えします。



草野祐香利さん (Commune with 助産師理事長)

Q 団体を設立した経緯について、お聞かせください。

かつて、地域の中に助産師(産婆さん)がいて、お産だけでなく妊娠期から子育てまで関わりを持って、地域で子育てを支えていました。時代が変わり、お産の多くを病院などの医療施設で行うようになると、地域の助産師は減少しました。お産の環境は変わっても、子育ての悩みや不安を気軽に相談できる、地域に根差した助産師が必要だと考え、平成十八年に出張助産師の活動を開始しました。

その後、チームで地域の助産師活動をつなげていこうと、平成二十一年にNPO法人を設立しました。
Q これまでどのような活動をしてきましたか。
地域に向いての相談や、妊婦や母子同士が、気軽に交流できる場を設けるなどの活動を行いました。



産後の体の回復と赤ちゃんとのスキンシップを図る「ママ&ベビー体操」

Q 現在は、どのような活動を行っていますか。
さまざまな団体と協力・連携しながら、妊娠・出産・育児に関する交

また、法人設立の翌年には、拠点となる助産院を開設したことで、助産師が常駐できる体制が整い、院内での活動も可能になりました。こうして活動の場を広げようとした矢先に、震災が発生しました。その後は、外遊びを控える乳幼児たちへの遊び場の提供や、仮設住宅での訪問相談のほか、母子と入居者との多世代交流による、子育て支援などの活動を行いました。同時に、支援をより充実させるためにも、助産師以外のグループとの連携も大事だと感じたことから、他の支援団体とのネットワークづくりにも取り組まれました。

Q 今後の目標をお聞かせください。
子育てを包括的に支援していくためには、これまでの母子支援を中心とした活動に加え、思春期の子どもたちや妊婦に対する活動を充実させることが必要です。そこで、活動のベースとなる「地域での子育て」を実現するため、世代を超えた交流の場を作りたいと考えています。

Q 市民の皆さんへメッセージをお願いします。
子育ては、みんなで支えることが大事です。私たち自身も、積極的に地域とのつながりを持ちながら、地域全体で子育てを支える環境を作りたいと思っています。



「妊婦健康子育て教室」でランチを楽しむ参加者の皆さん

いわきの五十年を振り返る

遠野町上遠野

春の交通安全運動パレード音楽隊の奏でる音楽に引き寄せられるように、沿道の人々が通りに出てきた上遠野市街(写真1)。かつ



〈写真1〉上遠野市街を、西方の根岸に向かって見る(昭和54(1979)年5月 いわき市撮影)



〈写真2〉変化しながらも、昔の面影を残す上遠野市街(平成26(2014)年9月 いわき市撮影)

て御斎所街道の中継地として、近郷近在から人が集まってくるを見せた街です。この街に大きな変化をもたらしたのは、平成十一(一九九九)年四月に開通

した主要地方道いわき―石川線遠野バイパスでした。多くの車がバイパスへ迂回したのです。それから十数年が過ぎました。旧街道に並ぶ建物の一部はセットバック、ある

いわき市は来年十月に、市制施行五十年を迎えます。本市のこれまでの歩みを、市内各所の過去と現在の写真を比較し、エピソードを交えながら振り返ります。

いは駐車スペースを設けて、クルマ社会に対応しているよう、時代の流れが見え隠れします(写真2)。一般的に街の移り変わりをみると、道路の曲がりや背後の山の形でしか判断材料はないのですが、この場合、見事に交通標識や電柱が当時と同じであることが分かります。

日本全国で絶えず繰り返されている、幾多の社会変化の波。ここでは道路と傍らの標識が、じつと街の推移を見詰めているようです(いわき地域学会 小宅幸一)

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課(☎22・7503)までご連絡ください。

11月16日(月)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久浜・炊
地上1m	0.094	0.036	0.043	0.056	0.045	0.052	0.052	0.057	0.054	0.075	0.065	0.065	0.111

測定時刻: 11時
単位: マイクロシーベルト/時
出典: 原子力規制委員会ホームページより
モニタリングポストは、マイクログレイ/時で測定されていますが、本表では1マイクログレイ/時=1マイクロシーベルト/時と換算して表示しています。
※久浜・大久支所は、改築工事のため、当面、久之浜西公園での測定値を掲載します。

※過去における測定値、平成22年度の市内の状況については、0.04~0.07マイクロシーベルト/時で推移していました。(福島県ホームページより)

水道水の放射性物質の測定結果 水道局では、市内全12浄水場の水道水を週3回(法田第一ポンプ場・旅人浄水場・上遠野浄水場は週1回)検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出(1ベクレル/kg未満)であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口(県設置窓口) ☎0120-988-359 平日: 8時30分~18時15分 土日祝: 8時30分~正午